

花のある空間

大高 令子

深まる秋の卓上アレンジメント



今月の花材

バラ [コーラルハート] サーモンピンクのバラ

ダリア 一番大きな花

スプレーマム 赤褐色の花 / アスター 緑色の小花

ブナ 茶系の枝葉 / カボチャ

その他 陶器製のケーキスタンド

フローラルフォーム (フラワーアレンジメント用のスポンジ)

四季を楽しむ暮らしをするうえで、紅葉は秋の大切なエッセンスのひとつです。

今月は「森の母」とも称されるブナの色づいた葉をアクセントに、ケーキスタンドを花器にしてアレンジしてみました。

まず花器とするケーキスタンドの中央に、ケーキスタンドの直径3分の1程のサイズにカットして吸水させたフローラルフォームをセットします。

次にブナの枝葉を適宜カットして、アレンジ全体の高さ、底辺、幅、厚みを考慮してアウトラインを形づくるように挿します。どの枝も、フローラルフォームの中心に設定した「焦点」に向かうように挿していきます。

続いて各種の花で空間を埋めていきます。まずバラを、ブナで描いたアウトラインの間に強弱をつけながら挿します。

次にすきまを埋めるようにダリアを挿し、カボチャをセットします。さらにスプレーマム、アスターの順に残りの空間を埋めて、最後にブナの葉を散らすなど、秋のエッセンスをプラスして完成です。

すべての素材がひとつの焦点に向かうように整えることで、バランスの取れたアレンジメントに仕上がります。

秋のフラワーショップには、多彩な紅葉した枝葉が並びます。アレンジメントに取り入れ、深まる秋をお楽しみください。 ▲

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。